

第72回全国青少年読書感想文コンクールについて

<応募資格>

1. 小学低学年の部（1， 2年）
 2. 小学中学年の部（3， 4年）
 3. 小学高学年の部（5， 6年）
- 自由図書
課題図書

<用紙・字数>

1. 原稿用紙（校名入り不可）使用・縦書き・自筆
低学年・・・本文 800字以内
中・高学年・・・本文 1200字以内
2. 句読点はそれぞれ一字に数える。
改行のための空白カ所も字数として数える。
3. 題名、学年、性別は字数に数えない。
（校名・氏名は原稿用紙には書かない。応募票に書く）
4. B4版原稿用紙（400字詰めでもなくてもよい）

<応募作品>

1. 応募は日本語で書かれた作品のみ。
2. 個人のオリジナルで未発表の作品に限る。
他の類似のコンクールとの二重応募は認められない。
3. 入賞・入選作品は返却しない。
（入選作品は作品・氏名が公表される。）

※応募票は、はっきり楷書で書いてください。（低学年は大人が正しい漢字で書いてください。）

※課題図書を購入した際についてくる応募票を使って、個人での応募はできないのでご注意ください。

校内締め切り 9月1日(火)

読むこと、書くこと、自分を育てること。

第72回 青少年読書感想文全国コンクール

今年も大募集!!

伝説の感想文は、キミから生まれる。

世界中から選り抜かれた18冊。課題図書2026

《書き方例》

「スイミーはひとりぼっちでかわいそう。」
ぼくはさいしょ、そう思いました。しかし、スイミーは「ひとりぼっち」のままではありませんでした。

よくも、なかなか勇気が出ないことがあります。前に、バスケットボールをしたときは、なかに声をかけることができなくて、パスがつましく通らないことがありました。でも、スイミーのように、ゆう気を出して声を出せば……

すこしのゆう気を出せば、なかと力を合わせることが出来る。そのことを忘れないようにしたいです。

「スイミー」 レオ・レオニ 好学校

ゆう気を出して 四年 女

《このコンクールでの原稿用紙の使い方》

1. 書き出し（本文）は1行目から。
（題名や名前は原稿用紙に入れない。）
2. 一枚目欄外に「題名・学年・性別」を書く。
3. 最終原稿用紙欄外に「書名・著者名・出版社名」を書く。
4. 用紙は二つ折りにし、右肩をホチキスで綴じ、応募票をその上からクリップで添付する。

《読書感想文ってなあに？》

読書感想文は、「考える読書」の記録。どこに感動した、なぜ感動した？を書くもので、本の紹介ではありません。本と出会ってあなたが感じたこと、考えたことを文章にしてみましょう。文に書かれていることや写真、絵から、自分を見つめてみましょう。

本を読んで思い出した、自分の経験や体験、考えたことなどが書けるとよいですね。